

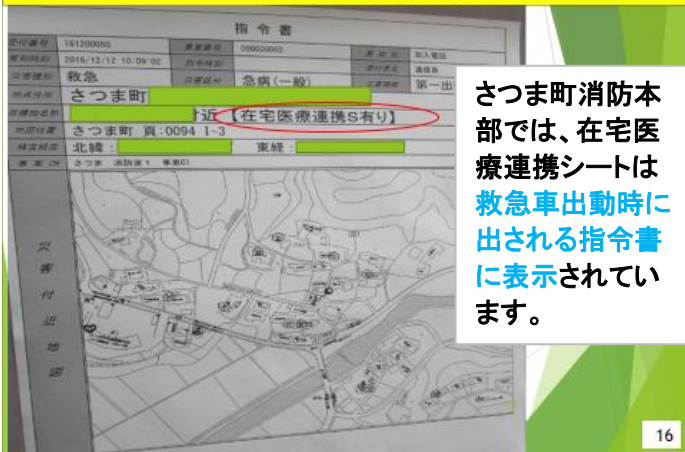


医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。

在宅医療連携シートの近況についてご報告いたします。

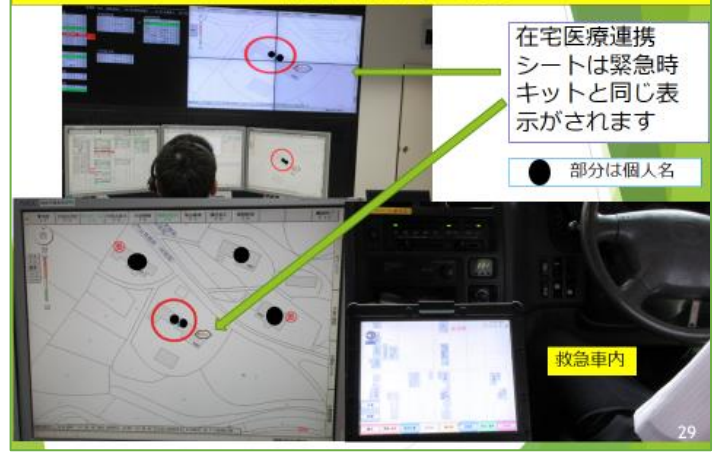
在宅医療連携シート 記載医療機関数：11 記載患者総数：99名(延)

医医連携および市町村との協働 さつま町消防本部の協力



さつま町消防本部では、在宅医療連携シートは救急車出勤時に表示される指令書に表示されています。

多職種および市町村との協働 薩摩川内市消防局の協力



さつま町消防本部、薩摩川内市消防局のご協力により、在宅医療連携シート記載者が住基ネットに登録されています。シートが提出されたら、各担当の消防本部にFAXにてお知らせしております。先日ある医療機関の看護師様より「庭で倒れておられるのを近所の方が発見し、救急車に連絡をして頂いた際、冷蔵庫に緊急時キットがあり容器ごと持参されました。連絡先が自宅しか書いてなかったのが残念でしたが、当院がかりつけ医として記載されており搬送されました。これがそうなんだね、助かるね、と対応したスタッフで話す事でした」とお話を頂きました。患者様のお名前に聞き覚えがなかったので、再度確認した所、要援護者の方の緊急時キットの事だと判明致しました。在宅医療連携シートもこのような緊急時に役立てて頂けるように記載して頂いています。今後もこのような情報を頂けると有難いと思います。

「さつまるネット」の活動報告を含めて研修会を開催致しました(1/24)



肝属郡医師会立病院地域医療室長の坂上氏には、肝属郡で活用しているグループウェアとの違いについてお話を頂きました。MCSの方が解りやすいとのご感想も頂きました。

当日は、51名の方にご参加頂きました。活動報告では、既読の👍をタップして頂きたい事などもお話し致しました。現在、「さつまるネット」への参加登録事業所：50カ所、参加登録者数：180名となっております。患者グループも訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所の皆様のご協力で20名となりました。褥瘡患者様、ショートステイ利用の患者様の情報共有に有効活用して頂いております。最近、食事の様子を撮影した動画の投稿もありました。引き続きご活用よろしくお願い致します。また、新規に患者グループを作成したい場合やグループへの招待などについてはセンターへご相談下さい。



裏面もお読み下さい



多職種研修会：架空事例を用いた多職種連携プラン作成(12/1)



マモリエ地域交流室に於いて、歯科医師2名、薬剤師5名、看護師12名、介護支援専門員7名、管理栄養士5名、訪問看護ST2名、MSW4名、歯科衛生士2名、社会福祉士1名、行政4名の参加で行われました。今回は、企画から進行まで薩摩郡薬剤師会の岩元暢秀先生に行って頂きました。冒頭でアイスブレイクとして、折り紙を使った「地域の輪づくり」を5分間の制限時間で行いました。初めて参加された方々と一気に距離が縮まった時間でした。その後、架空事例を用いて各グループで課題や目標、対策について話し合い、各グループに発表して頂きました。実際の事例ではない所が情報不足に感じ、難しかったと感じた方もおられたようでした。最後に、薬剤師会から「健康サポート薬局について」のお話も頂きました。有意義な研修有難うございました。



ケアマネ井戸端会議(医療・介護連携と在宅医療について)(1/19)



1月19日にひまわり館にて開催された「ケアマネ井戸端会議」で、薩摩郡医師会在宅医療推進事業についてのこれまでの取り組みのお話をさせて頂きました。その中で在宅医療連携シートについてや「さつまる」ネットについてもご紹介いたしました。後半は、①医療介護連携シートについて②さつまる町内の医療機関との入退院時の連携について③在宅医療連携シートについて④退院カンファレンスについて⑤地域包括ケア病棟について、グループに分かれ選択した3項目についてそれぞれポストイットに書き出しまとめた内容を発表して頂きました。③在宅医療連携シートについては、「ショートステイ先から救急搬送時に持参する事が浸透すれば有効」「救急搬送時の情報収集の簡素化に繋がっている」「まだ、使用する機会が無い為、内輪内での連携にも活用して慣れていきたい」などのご意見が出されました。

4月1日から薩摩郡医師会ホームページより「医療介護資源マップ」で事業所検索が出来るようになります。



これまでのホームページ画面



4月1日以降のホームページ画面

川薩医療・介護事業所のネットワーク公開がいよいよ始まります。各事業所へ専門職用のユーザー名・パスワードをお届けし、情報に間違いがないか確認をして頂いております。薩摩郡医師会のホームページ画面からも入れますので、ご活用ください。それに伴い、トップページのデザインを少し変更致しました。「医療介護資源マップ」(上図)より検索できます。(支援センター)